



# さくら小だより



坂戸市立桜小学校学校便り 10月号

【学校教育目標】

『かしこく やさしく たくましく』

## 笑顔いっぱい 学びいっぱい 元気いっぱい みんな大好き桜小 修学旅行、校外学習、たくさん学べた行事になりました。

暑さも和らぎ、秋の気配を感じられるようになりました。先月は、6年生は修学旅行に、1～4年生は校外学習を行い、学校外での体験活動を通して多くのことを学ぶことができました。

<1・2年生 高坂こども動物自然公園>

1, 2年生合同でグループを作り、広い動物園の中で地図を片手に歩き回りました。動物を見て学ぶことはもちろんのこと、「ふれあいコーナー」では、間近で動物の観察をすることができました。2年生は、1年生を気遣い、「待つ」ことができました。声をかけたり、手をつないだり、荷物をもってあげたりと、子ども達で考えての素敵な心遣いがたくさん見ることができました。また、公園内にあるアスレチックでは、普段はチャレンジしないようなコースでも、友達のやっている様子を見ながら、手足を動かしたり、バランスをとったりして挑戦する姿を見ることができました。

<3年生 坂戸市内巡り>

3年生の社会科では、地域を知る学習をしています。子供たちの知る「坂戸市」は、桜小校区やスーパーマーケットや駅などに限られており、桜小の周りには見られない、醤油工場やお菓子工場、広い田んぼなどをバスを使って、見学をすることができました。醤油工場とお菓子工場・・・目で見るだけでなく、においからも感じることができ、「オンライン工場見学」ではできない「工場見学」をすることができました。

<4年生 浦山ダム見学・川の博物館>

4年生の社会科では、「生活を支える飲料水」について学習します。自分たちの飲料水の供給の仕組みや経路などを知り、自分たちにできることを考えられるようにします。実際に、水道水をためるダムを訪れ、その規模を見たり、川の果たす役割を学んだりしました。バスでの移動時間では、みんなで楽しい時間を過ごせるよう「レク」を行うことも大事な学習となりました。

<6年生 鎌倉方面の修学旅行 1泊2日>


6年生は、今までの学校生活の中での学びを活かして、修学旅行に行ってきました。鎌倉市内を4時間かけて歩いたり江ノ電に乗ったりしながら散策しました。鶴岡八幡宮や高德院、そのほかに自分たちで選んだ神社やお寺を地図を見ながら回りました。そのためのグループでの打ち合わせは、インターネットや本で調べ、「行ってみたい」と思う場所を選び、そのための道順も地図に書き込みました。また、お土産も限られたお小遣いの中で、「誰へのお土産」といった相手意識を持たせての「お土産計画」も立てました。

この事前学習は、7月ごろから始め、何度も何度も計画を練り直しました。おかげで、当日は大きなトラブルなく、どの子ども達達成感をもっての活動をすることができました。

湯河原の温泉旅館で夕飯を食べ、みんなで温泉につかる・・・満足げな顔をたくさん見ることができました。

これらの活動のために、子ども達も先生方もたくさん準備をしました。ご家庭でも荷物だけでなく心身の準備もされたことと思います。机上の学習では学べないことを、仲間とともに活動しながら学ぶ、そしてそれが「思い出」となり、経験として人生を豊かにすることに繋がります。今後も、ご協力お願いいたします。



10月 主な行事	※詳しくは学年だよりをご覧ください
2日(木)委員会活動 校外学習1・2年 3日(金)短3 就学時健診 5日(日)北坂戸地区体育祭 9日(木)連合運動会5・6年 クラブ活動なし ※片柳小、入西小の5・6年生のみんなと 陸上競技を通して交流します。 10日(金)連合運動会予備日 14日(火)短縮5時間 水泳授業開始 個人面談① 15日(水)短縮5時間 個人面談② 16日(木)短縮5時間 個人面談③ 17日(金)短縮5時間 個人面談④	20日(月)水泳指導 ※5・6年生6時間 21日(火)宿泊学習5年 小川げんきプラザ 22日(水)宿泊学習5年 23日(木)クラブ活動なし 28日(火)水泳指導 29日(木)委員会活動 

## <10月3日 就学時健診での子育て講座より>

子供たちの検査を待つ時間、NPO 法人地域教育ネットワークの代表理事を務められている笠松直美様に「入学に向けての心構え～ネットと生活習慣」という内容でご講演をいただきました。その中で『ママのスマホになりたい』というぶみさんの絵本を紹介していただきました。ご存知ですか？この絵本は、シンガポールのある小学生が描いた作文が元になっています。その少年が学校から「親のことについて作文を書いてきなさい」と言われて書いたのが『スマホになりたい』というタイトルの作文だったそうです。

……………  
**ぼくの願いはスマートフォンになることです。なぜなら、ぼくのママとパパはスマートフォンがとても大好きだから。**

ママとパパはスマートフォンばかりを気をして、ときどきぼくのことを忘れてしまいます。

ぼくのパパが仕事から疲れて帰って来たとき、パパはぼくではなく、スマートフォンと時間を過ごします。ママとパパが大事な仕事をしていてスマートフォンが鳴り出したら、1回鳴っただけでもすぐに電話に出ます。ぼくが泣いているときでさえ、そんな風にはしてくれないのに。

ママとパパはぼくとではなく、スマートフォンでゲームをして遊びます。スマートフォンで誰かと話しているとき、ぼくが何か伝えたいことがあっても、ぼくの話聞いてくれません。

**だから、ぼくの願いはスマートフォンになることです。**

……………  
 子どもとおしゃべりしていて、子どもから同じような話を聴いたばかりでした。大人同士でも、一緒にいる場でスマホばかりを気にされていると、嫌な気分になりますし、さみしさを感じます。子どもの心は、「愛されている」という実感から安定した土台がつけられます。

ちょうど、10月は読書月間として、読書の秋を楽しみましょうと子供たちに話をしました。スマホから本に持ち替え、一緒に読書を楽しむ…

そんな時間があってもいいのではないのでしょうか。

